

令和4年度

病害虫発生予察情報

第3号

注意報第1号

北海道病害虫防除所 令和4年(2022年)5月9日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujosho/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

あぶらな科野菜のコナガが早期かつ多飛来傾向！ ほ場観察に努め防除開始時期に注意しよう！

長沼町、比布町、北斗市、芽室町及び訓子府町の予察ほ場において、4月のフェロモントラップへのコナガ成虫の誘殺は、いずれの地点においても平年より早く、誘殺頭数も多く経過しています。また、5月の気温は平年より高いと予報されています。これらのことから、本年のコナガ成虫の飛来数は多く、定植後のほ場へ速やかに飛来して活発に産卵するものと予想されます。定植時に粒剤や灌注剤処理を実施しない場合には、ほ場の観察に努め、適切な時期から防除を開始してください。

また、近年は薬剤抵抗性を発達させたコナガの飛来により、従来コナガに対して高い防除効果を示していたジアミド剤の防除効果の低下事例も確認されています。そのため、防除に当たっては、異なる系統の薬剤によるローテーション防除を実施すると共に、防除を実施した後の効果確認に努め、防除効果が低いと判断された場合にはすみやかに他系統剤による防除を実施するなど、コナガの発生動向に対応した防除を行ってください。

1. 発生地域 全道

2. 発生期 既発（早）

3. 発生量 多

4. 注意報発令の根拠

- 1) 予察ほ場におけるフェロモントラップによるコナガ成虫の初誘殺日は、長沼町、比布町、北斗市、芽室町及び訓子府町において平年より早い。（表1）
- 2) 予察ほ場におけるフェロモントラップによるコナガ成虫の初誘殺日は、いずれの地点においても4月の平年値を上回っている。（表2）
- 3) 札幌管区気象台より5月5日付けで発表された1ヶ月予報によると、向こう1ヶ月の気温は平年より高いと予報されている。

5. 防除対策

- 1) 定植時に粒剤や灌注剤処理を実施しない場合には、ほ場の観察に努め適切な時期から防除を開始する。
- 2) 防除に当たっては、複数系統の薬剤を用いたローテーション防除を実施する。薬剤防除実施後には適宜防除効果を確認し、コナガ幼虫の寄生が目立つ場合にはすみやかに他系統薬剤による防除を実施する。
- 3) 防除間隔を開けすぎないように留意する。

表1. フェロモントラップによるコナガ成虫の初発日

| 長沼町 | | 比布町 | | 北斗市 | | 芽室町 | | 訓子府町 | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 |
| 4/11 | 4/21 | 4/11 | 4/18 | 3/25 | 4/12 | 4/10 | 4/24 | 4/16 | 4/28 |

表2. フェロモントラップによるコナガ成虫の誘殺頭数

| 月・半旬 | 長沼町 | | 比布町 | | 北斗市 | | 芽室町 | | 訓子府町 | |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 |
| 4月 1 半旬 | 0 | 1.0 | 0 | - | 3 | 3.8 | 0 | - | 0 | - |
| 2 半旬 | 0 | 0.3 | 0 | - | 15 | 1.8 | 1 | 0.0 | 0 | - |
| 3 半旬 | 3 | 0.4 | 11 | 1.0 | 15 | 3.9 | 2 | 0.3 | 0 | 0.3 |
| 4 半旬 | 2 | 0.8 | 1 | 3.2 | 24 | 5.1 | 4 | 0.3 | 5 | 0.1 |
| 5 半旬 | 2 | 0.6 | 7 | 5.8 | 14 | 6.0 | 5 | 1.4 | 0 | 0.2 |
| 6 半旬 | 2 | 1.8 | 14 | 9.5 | 27 | 6.1 | 6 | 0.8 | 0 | 0.6 |
| 平年数 | 10 | | 7 | | 10 | | 10 | | 6 | |

注) 設置場所はあぶらな科野菜ほ場。ただし芽室町はあぶらな科野菜以外のほ場近辺、訓子府町は雑草地